

今の
オススメを
教えて
ください!



ビックカメラ 有楽町店

銀座という日本有数の繁華街にほど近い有楽町。一説には織田信長の弟、有楽斎が徳川家康から土地を拝領したことにちなんで名付けられたという由緒正しい場所でもある。この有楽町の一等地、有楽町駅の皇居側出口の目の前にそびえるのがビックカメラ有楽町店だ。ビックカメラは新宿西口店やおなじく新宿のビックロがオーディオ製品売場の充実ぶりで知られているが、この有楽町店も負けていない。2階にあるオーディオ売り場は、有楽町という立地にもかかわらず単品コンボなどマニア向けの製品がずらり。AV視聴コーナーもあったりと、とくにお目当ての製品がなくても、時間を忘れて楽しんでもらう。



答えてくれたのは……
2階オーディオコーナー
長井 出さん

住所：〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-11-1
最寄駅：JR山手線有楽町駅
営業時間：10:00～22:00
電話番号：03-5221-1111
HP:<http://www.biccamera.co.jp/>

1 アンプ (15万円以下) marantz PM8005 (店頭価格:9万4800円(税抜))

2014年1月に登場したプレミアムアンプで、前モデルにあたる8004シリーズの後継機となります。前モデルと比較すると低域の表現力が格段に向上し、パワフルなサウンドを体感できます。これまでのマランツというと、どちらかというと表現のきめ細かさだったり繊細さや滑らかさが特徴でしたが、この8005ではゆとりのある駆動力を得たことで低音から迫力ある澄んだサウンドを鳴らすことができ、中～高音域ではキレの良さが非常に印象的なアンプです。先代モデルの8004から基本構成を受け継ぎつつ、電源部の強化や回路全体の低インピーダンス化、そしてパワートランジスタの電流容量をアップさせたことなどにより、瞬間的な電流供給能力を約80%向上させたことが低音域をさらに豊かに感じさせてくれる要因ですね。また日本国内製造という点も、ファンからは高い支持を集めています。

コメント



SPEC.

定格出力:100W+100W (4Ω, 20Hz～20kHz)、70W+70W (8Ω, 20Hz～20kHz)
全高調波歪率:0.02% (負荷8Ω, 20Hz～20kHz)
S/N比:LINE…106dB (入力信号2V時、定格出力)
PHONO (MM) …87dB (入力信号5mV時、1W出力)
周波数特性:5Hz～100kHz±3dB (CD,1W,8Ω負荷)
入力:ライン×5、PHONO入力×1、パワーアンプダイレクト入力×1
出力:プリアウト×1、ヘッドフォン出力×1、スピーカー×2
消費電力:220W
外形寸法:W440×H128×D379mm
質量:12.0kg
定価:12万9500円

2 スピーカー (10万円以下/1本) KEF Q300 (店頭価格:6万9334円(ペア、税抜))

この価格帯ではもはや『定番』といった感もある、KEF (ケーイーエフ) のミッドレンジモデル。創業は1961年と、決して長い歴史を持つメーカーではありませんが、KEF創業者のレイモンド・クック氏がイギリスBBC社の電気技術者だったこともあって、同社との共同開発で優れた製品を多く製造してきました。現行ラインナップにおける特徴は、ラインナップ中のほとんどに採用されている「Uni-Q」というドライバーです。このUni-Qドライバーの採用により音の定位が格段に向上しており、とくに低音域を豊かに聴かせてくれる独自のサウンドで多くの支持を集めています。優れた表現力にも定評があり、ジャンルの異なるジャズなどに相性が良いのではないのでしょうか。またキャビネット部分はブラック/ホワイト/ローズウッド/マホガニーと4色がラインナップされており、周辺環境とコーディネートできることも人気の秘密です。

コメント



SPEC.

タイプ:2ウェイ・バスレフ方式
サイズ:H255×W210×D302mm
質量:7.7kg
使用ユニット:低域用16.5cmアルミニウム+高域用2.5cmアルミドーム
公称インピーダンス:6Ω
定価:オープン

3 CDプレーヤー (10万円以下) marantz SA8005 (店頭価格:9万8800円(税抜))

上で紹介しているPM8005と同時期に発表されたのがSA8005です。こちらも先代モデルであるSA8004の進化版ですが、一番大きな変更点はUSB-DAC機能が大幅にバージョンアップした点です。最大192kHz/24bitまでのリニアPCMはもちろん、話題のDSDも5.6MHzのネイティブ再生まで対応していることがファンに支持されている要因と感じます。音質面でも構成内容が一新されていて、USB接続したPCやSA8005内のデジタル回路から発生する高周波ノイズを排除する「デジタル・アイソレーション・システム」などを搭載し、よりクリアなサウンドを実現しています。またSACDのメカニズムも進化しており、スピンドルシャフトを短くすることで高速回転時のディスクのブレを抑制したほか、2mm厚の銅板を用いたベースを採用することで振動を抑制しています。

コメント



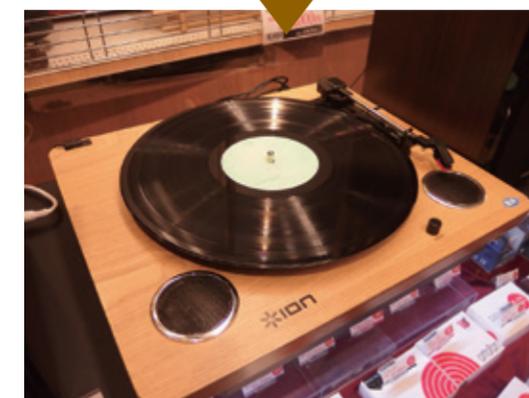
SPEC.

対応フォーマット:SACD、CD
サイズ:W440×H106×D341mm
重量:8.0kg
消費電力:38W
出力:RCA×1、光デジタル×1、同軸デジタル×1
入力:光デジタル×1、同軸デジタル×1、USB (Type A) ×1、USB (Type B) ×1
定価:12万9500円

4 その他 ION AUDIO ARCHIVE LP (店頭価格:8680円(税抜))

いま各所で話題を集めている、超破格のアナログプレーヤーです。1万円を切る価格ながら、質感の高い外観と優れた機能で大人気となっています。最大の特徴としては、ステレオスピーカーを内蔵しており単体でも音楽が楽しめること。そして背面にRCAアナログ端子やUSB端子も備えているので、お手持ちのコンボにつなげてオーディオシステムを構築することもできますし、USB経由でアナログレコードの音源をデジタル音楽ファイルへ変換することも可能です。製品には専用ソフトが付属しており、デジタル変換時に自動で1曲ごとに分割して取り込むことができるなど、現代のシステム事情にマッチした製品構成が魅力です。アナログプレーヤーとしての基本的な機能も優れており、33 1/3や45はもちろん78回転まで対応しており、ほとんどのアナログ盤が再生可能です。針やカートリッジが交換可能というの嬉しい点ですね。

コメント



SPEC.

サイズ:W406×H88×D360mm
重量:2.7kg
対応回転数:33 1/3、45、78
出力端子:USB、RCA (アナログライン)
定価:9980円

今の
オススメを
教えて
ください!



ヨドバシカメラ マルチメディア Akiba

日本を代表する家電激戦区の秋葉原に、2005年9月にオープンしたのが「ヨドバシAkiba」だ。いわゆる電気街とは駅の反対側に位置する、地上9階・地下6階の巨大なビルである。1階から6階が家電量販店であるヨドバシカメラのマルチメディアAkibaとなっており、そのほかCDショップや書店、飲食店などが入居する大型複合ショッピング施設となっている。ホームオーディオフロアは4Fにあり、国産・輸入メーカーを数多く取り揃えるほか、メーカーごとに区切られた展示・試聴スペースが設けられるなど、充実度は日本トップクラス。地下2階から地下6階は駐車場となっており、約520台を収納可能という点も嬉しい。

住所：〒101-0028 東京都千代田区神田花岡町 1-1
最寄駅：JR山手線他秋葉原駅
営業時間：9:30～22:00
電話番号：03-5209-1010
HP：<http://www.yodobashi.com>

答えてくれたのは……

マイホーム商品・オーディオチーム
ソリューション・プロフェッショナル 黒川 剛さん



① アンプ (15万円以下) ATOLL IN100SE

(店頭価格:17万4420円(税込))

※黒川さんのイチオシということで、予算オーバーしています。

フランスの新進メーカーとして、オーディオ好きには高い認知度を誇るアトール。開発および生産・品質管理のすべてをフランス国内の自社工場で行うアトールのベストセラー・モデルが、このIN100SEです。発売されたのは数年前になりますが、今なお安定した人気ですね。海外メーカーならではの独特なフェイスデザインはもちろん、暖かみのある柔らかなサウンドが一番の魅力です。その要因となっているのは、入力ステージにバイポーラ・トランジスタを、出力ステージにMOS-FETトランジスタを配置した点でしょう。音楽性を第一に練り上げられた回路構成と、厳選されたパーツを贅沢に使用していることが独自のサウンドを生んでいます。近代アンプでは低歪を保つために不可欠とされているネガティブフィードバックの帰還率を、6dB以下と極めて低く設計していることで、原音の魅力がイキイキと再現されます。

コメント



SPEC.

定格出力:140W+140W (4Ω)、100W+100W (8Ω)
全高調波歪率:0.05%以下 (出力10W時、1kHz)
S/N比:LINE…100dB
周波数特性:5Hz～100kHz
入力:ライン×5、ダイレクト入力×1
外形寸法:W440×H90×D255mm
質量:11.0kg
定価:17万円(税抜)

② スピーカー (10万円以下/1本) FOCAL Chorus 716

(店頭価格:19万2880円(ペア、税込))

FOCALは1980年に誕生したフランスのメーカーで、ホーム用高級スピーカーの分野では世界的に人気を集めています。FOCAL製品もATOLL同様、製造工程のすべてをフランス国内で行っており、拘りのある個性的な製品作りが支持されているといえます。この716は同社の「700シリーズ」と呼ばれるスピーカー群のトールボーイ型で、スモールエンクロージャーでも臨場感あふれる低域再生を実現したダブルボイスコイルやインバーテッドドームツイーターといった特徴を備え、環境を選ばずに音域の広く柔らかい、原音に忠実な音を聴かせてくれます。また独特の曲面を描くキャビネットのデザインや、柔らかな木目を生かした表面処理は質感の高さを感じさせ、オーディオルームを優雅に彩ってくれるということで選ばれるお客様もいらっしゃいますね。音楽ジャンルとしてはジャズやクラシック愛好家の方にお勧めしています。

コメント



SPEC.

タイプ:2 1/2ウェイ・バスレフ方式
サイズ:W221×H950×D308mm
質量:20.5kg
使用ユニット:低域用16.5cmポリガラス+中域用16.5cmポリガラス+高域用2.5cmアルミ/マグネシウムドーム
公称インピーダンス:6Ω
定価:10万6000円(Rosewood / Walnut) (税抜)

③ CDプレーヤー (10万円以下) ATOLL CD100SE2

(店頭価格:20万2660円(税込))

※黒川さんのイチオシということで、予算オーバーしています。

同社のCDプレーヤー、CD50SE/100SE/200SEシリーズがマイナーチェンジを受け、いずれも「SE2」へと進化したモデルです。なかでもミドルレンジである100SE2はサウンドと価格のバランスに優れ、コストパフォーマンスの高さが魅力です。SE2となったことで新たに24bit/192kHz対応のデジタル入力部や24bit/96kHz対応のUSB入力部が搭載され、単体DACとしての活用も可能になりました。海外メーカー製品でありながら組み合わせるアンプを選ばないのが特徴ですが、やはり当店ではATOLL IN100SEとの組み合わせをお勧めしています。やはり同メーカー製品であるがゆえに、「目指している音が同じ」と考えているからです。海外製品のなかでも人気の高い製品ですが、とくにオーディオ歴が長く、自ら求めている音がハッキリしている方からの支持が高いモデルです。

コメント



SPEC.

対応フォーマット:CD
サイズ:W440×H90×D280mm
重量:7.0kg
出力:RCA×1、同軸デジタル×1
入力:光デジタル×1、同軸デジタル×1、USB×1
定価:21万円(税抜)

④ その他 ONKYO CP-1050

(店頭価格:5万2020円(税込))

近年は再びアナログプレーヤーの需要が高まっていますが、このCP-1050の魅力という「基本に忠実」ということになるでしょうか。当店では2015年1月より販売を開始したニューモデルです。特徴としては超低速ブラシレスDCサーボモーターによるクォーツロック・ダイレクトドライブ方式を採用していること。これは減速機構を持たないために振動の発生が少なく、アナログ盤の音溝に込められた音楽情報を忠実に再現することができます。そんなダイレクトドライブ方式をベースに、共振を抑えるアルミダイカスト製プラッターを組み合わせ、軽針圧カートリッジにも対応する高感度トーンアームを装備しています。実際に店頭で操作していただくと、スムーズな製品の起動はもちろん、節度感のある快適な操作感にも驚かれると思いますよ。特別な新機能を搭載するというより、最新技術によってアナログ盤に納められた情報量を余すことなく再生する、という姿勢も人気の理由だと思います。

コメント



SPEC.

サイズ:W450×H158×D367.5mm
重量:8.6kg
対応回転数:33 1/3、45
ワウフラッター:0.15%
SN比:60dB以上
定価:オープン